

4月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
07/04/16 (月)	新味のなかったG7声明を受けてシドニーでドルは高値をつけるも東京が始まるまでに弱含み、118円台へ。欧米は発表される米経済指標がやや弱めの内容となったもののキャリートレードの継続から再び円安進行。	・2月鉱工業生産確報0.7% ・4月月例経済報告で基調判断据え置き ・3月の米小売売上高0.7%、4月NY連銀製造業指数3.8、2月対米長期証券投資581億ドルの流入超	・ワシントンG7声明は2月エッセンスを踏襲したもので新味乏しい(14日) ・スイス中銀総裁「スイスフラン安は強いスイス経済を反映していない」 ・アルムニア欧州委員「ユーロ相場による問題は起きていない」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/17 (火)	東京はやや円高。120円手前で頭の重さがうかがえるなか福井発言を受けて一時円買い進行。欧米は米インフレ懸念の後退からドルが冴えない。対円では安値引け。ボンドが強く、対ドルでは2.0ドル台へ。	・4月の独ZEW景気期待指数16.5 ・3月の米CPIは0.6%、同コアCPIは0.1%、同住宅着工件数151.8万戸、同鉱工業生産 0.2%、同設備稼働率81.4% ・3月の英CPIは3.1%と過去最高	・尾身財務相「円安ではなくユーロ高という認識」 ・福井日銀総裁「為替が一方に行くリスク認識が重要」 ・英中銀総裁「高い英CPIはエネルギー価格などの予想外の上昇を反映」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/18 (水)	東京は日銀の早期利上げ観測浮上で円買い優勢。またユーロ/円も償還玉の円転思惑から小幅ユーロ安。欧米はドルが全体的に冴えない展開となったがドル/円だけは別格で方向性乏しい。	・2月の景気先行指数27.3% ・3月の英失業率2.9%、同失業者数増減 9200人 ・NZドル/米ドルが変動相場制以降のNZドル最高値を更新 ・ボンド/ドルは26年ぶり高値圏へ	・ユニケルユーログループ議長「日本経済は堅調であり為替を一方に傾けるのはリスクということも理解している」 ・BOE議事録要旨「4月会合は7対2で据え置き決定」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/19 (木)	東京は日本並びに中国に関する噂が相次ぎ円買い殺到。株安もあり円キャリの巻き戻し意欲が強まった。欧米は日中株安を受けてNY株式に注目集まるも意外に底堅い。徐々にドルの買戻しが優勢に。	・5月日銀利上げ「人民元切り上げ」「中国利上げ」--などの噂多数 ・3月の米景気先行指数0.1%、4月のFF連銀製造業業況指数0.2	・渡辺財務官「現時点では円が安過ぎることはない」 ・独財務相「今週末EU財務相会合で現在のユーロ高が協議される可能性は低い」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/20 (金)	東京は前日の反動もあり円独歩安。前日大きく崩れたアジア株もこの日は堅調で再び円キャリ加速も。欧米はNYダウが続伸したこともありドル高でスタート。しかし米財務長官の発言などもあり、やや円高進行。		・ユニケルユーログループ議長「強いユーロに狼狽する必要はない」 ・ECB総裁「為替は両方向にリスクがあることを認識する必要あり」 ・米財務長官「中国の通貨上昇ペースは速やかでない」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/23 (月)	東京は朝こそ円安で推移したものの、日本の格上げを受けて一転円買い優勢に。欧米は欧州要人の発言を受けてユーロが荒れ模様。否定発言などもあり上下に大きく振れる展開。	・S&Pが日本の格付けを引き上げ ・仏大統領選第1回投票でサルコジ氏トップ、2位はワイヤル氏 ・FT紙「日本の財務省が外準運用の投資会社設立検討」(藤井財務次官のちに否定)	・クリンツ中銀総裁「ユーロ高で利上げの必要性が減少」(のちに否定コメントが出る) ・ホルガ中銀総裁「ECBは物価リスクを引き続き警戒」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/24 (火)	東京はGWを前にした輸出企業のドル売り意欲強く結果円高。ユーロ債の償還思惑からユーロ/円も小安い。欧米は一部米経済指標の悪化もありドル買いにくい。しかし円はクロスで弱くドル安、円安の展開。	・3月の米中古住宅販売612万戸(89年1月以来の落ち込み)、4月の米消費者信頼感指数104.0、同リッチモンド連銀製造業指数 11	・オーストリア中銀総裁「為替に関するG7声明に付け加えることはない」 ・ヒルデブラントスイス中銀理事「キャリートレードが後退する幾つかの要因がある」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/25 (水)	東京は再び円高。株式市場が軟調に推移したことで円キャリの巻き戻しが優勢に。欧米は発表された米経済指標は好悪混在で反応しにくい。中東筋などの買いもありボンドが堅調。	・3月の貿易収支1兆6335億円 ・4月の独IFO景況指数108.6 ・3月の米耐久財受注3.4%、同新規住宅販売件数85.8件数 ・米地区連銀経済報告「大部分の地区で成長は緩やか」	・ルクセンブルグ中銀総裁「金利据え置きは追加利上げがないということではない」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/26 (木)	東京の円相場はレンジ。一方NZドルは荒れ模様。利上げは予想通りながら総裁発言などが波乱要因に。欧米はイラク情勢の進展にともなう地政学リスクの後退から円キャリ再開思惑台頭し、円独歩安。	・NZが政策金利を0.25%引き上げ	・RBNZ総裁「NZドルは異例で容認出来ない高水準」 ・ソナEU共通外交安全保障上級代表「イランとの交渉は一般論で一部前進」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/27 (金)	東京はCPIは予想を下回る伸びになったことで失望の円売りが進行するも120円には届かず。欧米は米国スタグフレーション懸念が台頭しドルの足枷材料に。一時119円を割り込むも徐々に買い戻された。	・3月の全国CPIは0.2%、同鉱工業生産 0.6% ・第1四半期米GDP速報値1.3%、同デフレーター-4.0%、同雇用コスト指数0.8%、4月のミシガン大消費者信頼感指数87.1	・日銀総裁「物価が目先弱くても経済が望ましい方向なら金利調整を行なう」 ・日米首脳会談「北朝鮮が約束を守らねば厳しい姿勢で臨む必要」	ドル円	ユーロ円	24H
07/04/30 (月)	週末の中国利上げを受けて円はキャップを空けて高寄るも買いは続かず。東京はじり安。欧米は米経済を受けて一喜一憂。ただ利下げ観測が高まったとの見方からドルは売られ易い。	・中国が預金準備率を0.5%引き上げ(28日) ・3月の米個人所得0.7%、同個人支出0.3%、同コアPCE ±0.0%、同建設支出0.2%、4月のシカゴ購買部協会指数52.9	・週末のトルコ大統領選を巡り政治的な混乱発生、軍の介入も ・尾身財務相「日仏財務相会談で通貨はファンダメンタルズを反映すべきと一致」	ドル円	ユーロ円	24H

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>